

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第1巻第20号

第33週(8月13日～8月19日)

発行年月日:平成13年(2001年)8月27日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (33週)	累積報告数 (1週～33週)
1類感染症	報告なし	-	-
2類感染症	細菌性赤痢	0	2
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	34
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3
	急性ウイルス性肝炎	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	3
	ジアルジア症	0	1
	梅毒	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	33週	増減	27～32週の平均
インフルエンザ	0		0
咽頭結膜熱	0.33		0.89
A群溶連菌咽頭炎	0.08		0.25
感染性胃腸炎	0.94		0.91
水痘	0.17		0.54
手足口病	0.31		0.32
伝染性紅斑	0.15		0.22
突発性発疹	0.27		0.36
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	1.31		3.49
麻疹	0.10		0.12
流行性耳下腺炎	0.79		1.12
急性出血性結膜炎	0		0
流行性角結膜炎	1.86		0.76
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.14		0.05
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.34
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、27週～32週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

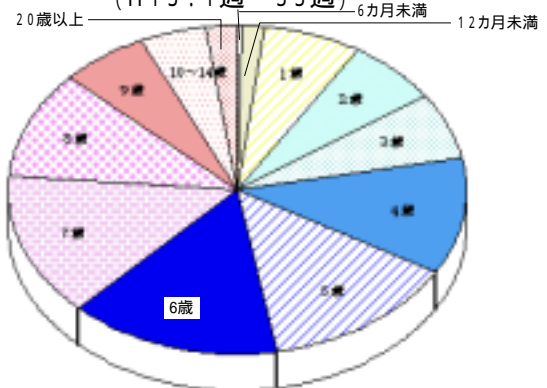
3) 今週のトピックス

患者情報

滋賀県における定点当たり患者数について、27～32週の平均と33週を比較すると、感染性胃腸炎、流行性角結膜炎、無菌性髄膜炎に増加傾向が見られます。また、感染性胃腸炎、手足口病、流行性角結膜炎、伝染性紅斑の報告数は前週(32週)より増加しています(2～3ページのグラフ参照)。伝染性紅斑の全国的な発生状況は、1992年に次ぐ大きな発生となっています。

伝染性紅斑の年齢別患者報告数(滋賀県)

(H13.1週～33週)



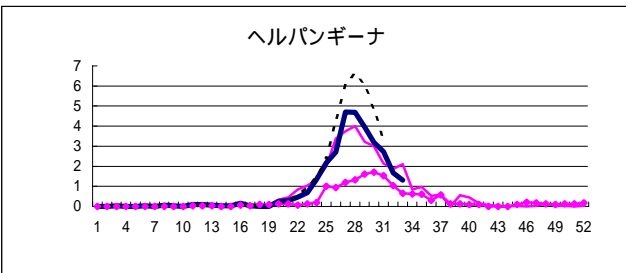
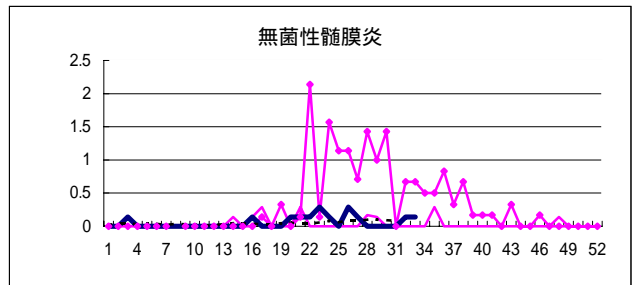
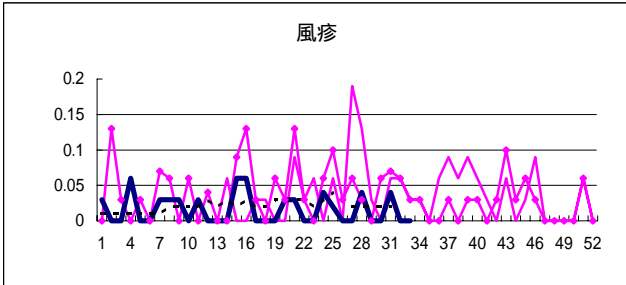
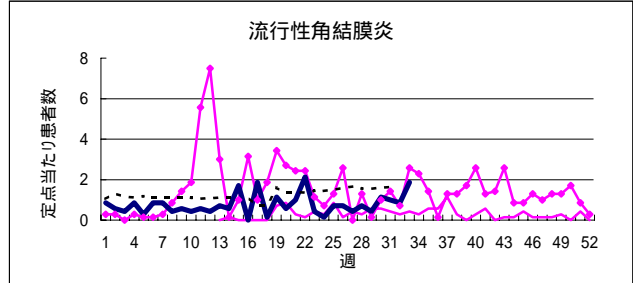
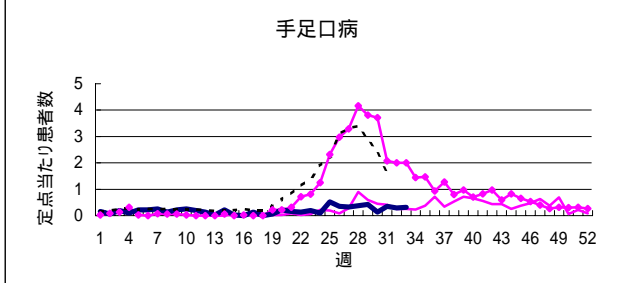
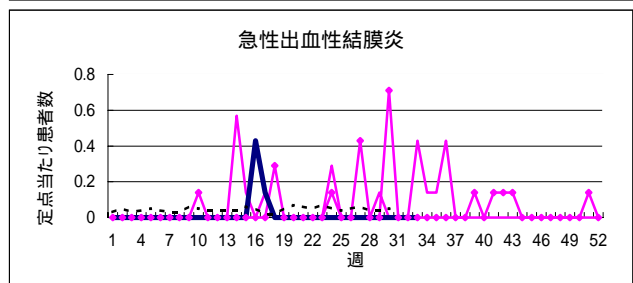
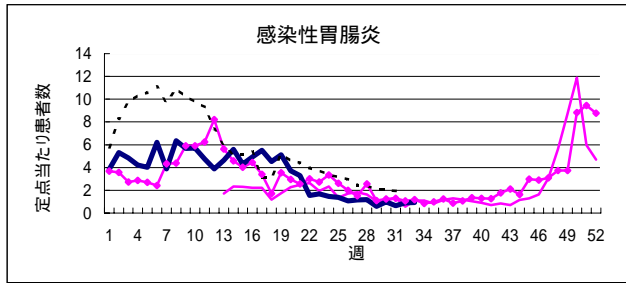
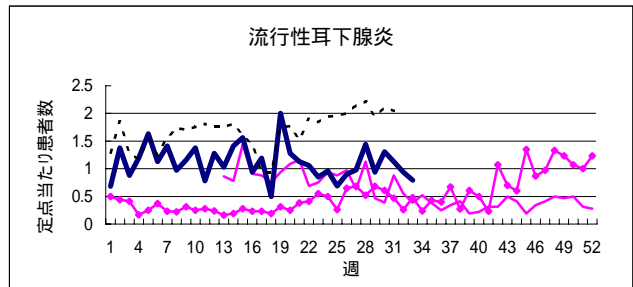
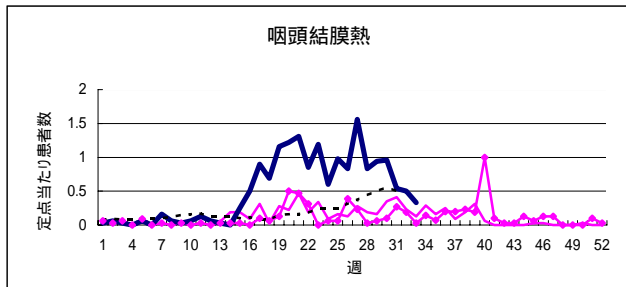
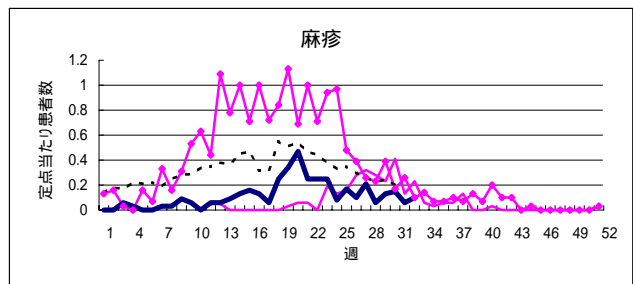
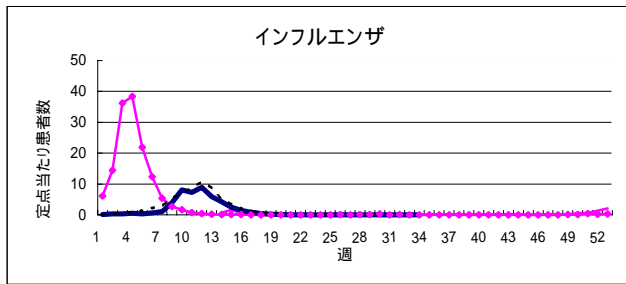
年齢	6カ月未満	12カ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	合計
報告数	1	5	22	20	21	35	44	47	44	33	19	15	0	7	313
%	0.3	1.6	7	6.4	6.7	11	14	15	14	11	6	4.8	0	2.2	100



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。

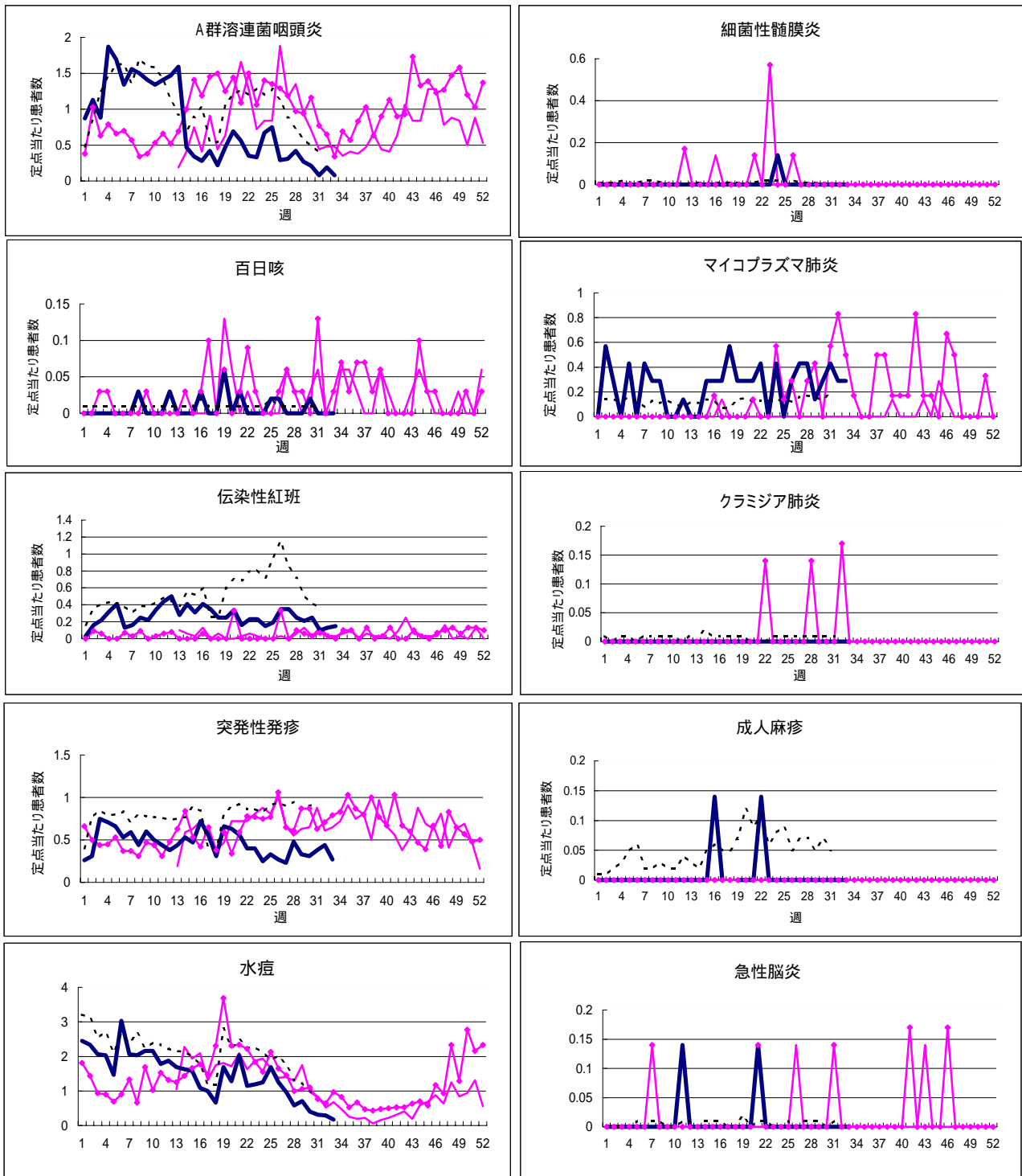
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第33週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●———
 H13 ————
 全国 { H13 - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成13年第1週～第33週)



滋賀 { H11 ————
 H12 ●————●
 H13 —————
 全国 { H13 - - - - -